

若園校区5カ年計画 小地域福祉活動計画策定の様子

若園校区社協は、R4 年度 小地域福祉活動計画を策定しました！！

OR3年4月 築別会長、大久保副会長、水田副会長へ小地域福祉活動計画説明。



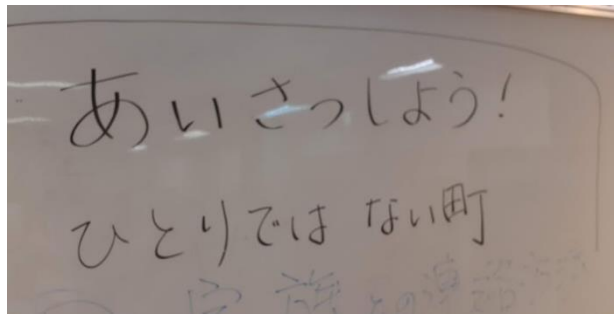
～小地域福祉活動計画策定委員長 築別会長・実行委員長 大久保副会長に決定～

OR3 年7月 連絡調整会議にて、小地域福祉活動計画策定説明会を実施。



○令和3年 11 月 連絡調整会議にて 若園校区の課題についてグループワークで話し合い

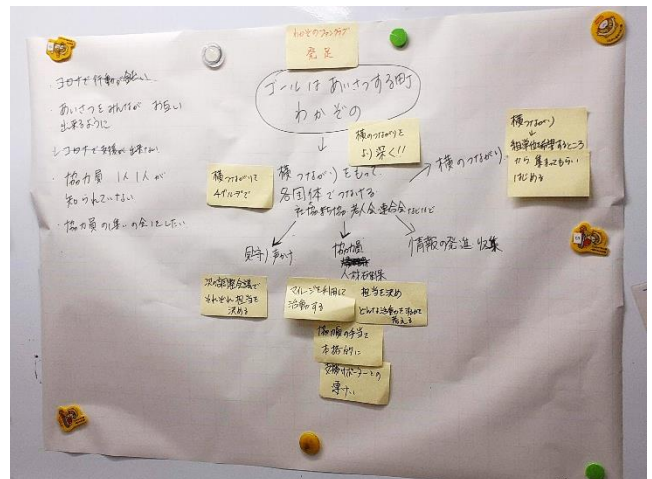
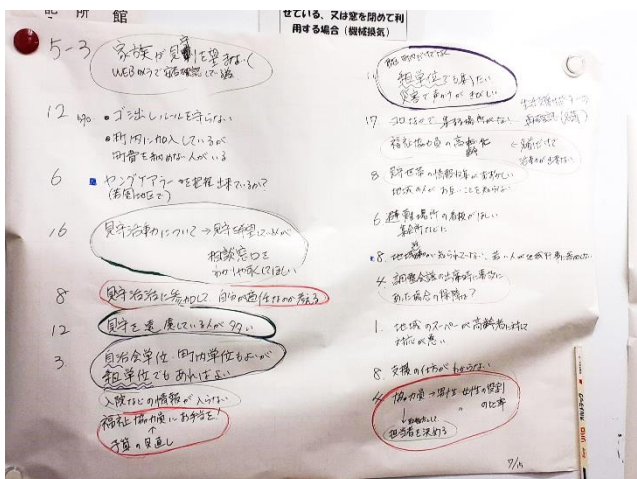


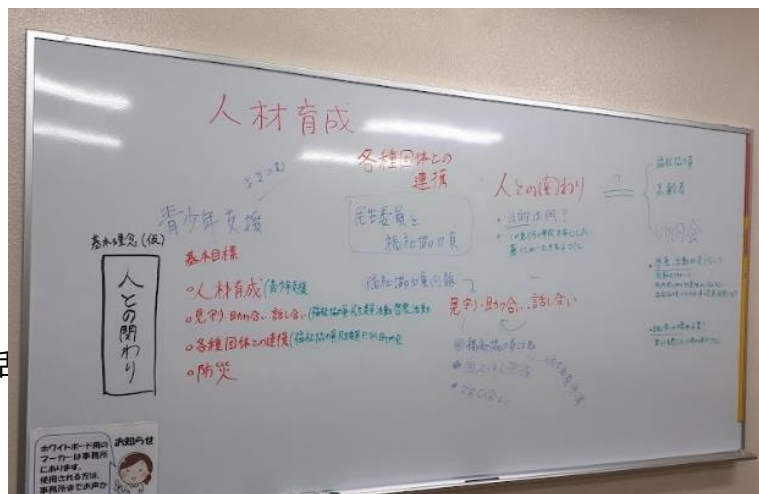


連絡調整会議後 グループワークの結果をもとに役員で協議をしました！

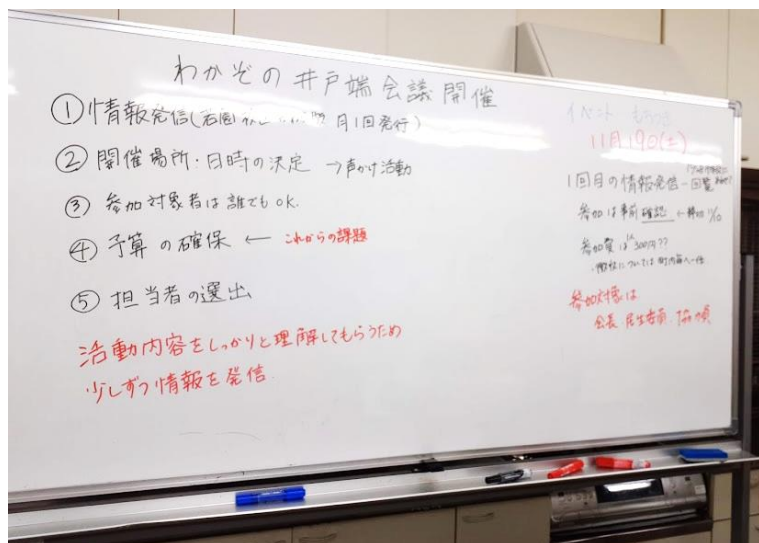
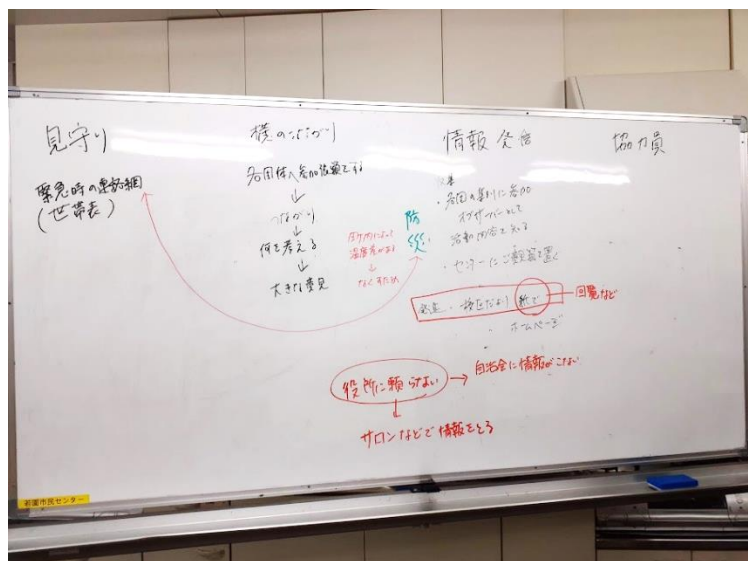


R4年7月 15 福祉協力員を対象にアンケートを実施。
策定委員会で、アンケートの結果の共有と内容について協議をし、グループワークの課題も含め課題の種類分けを実施しました。



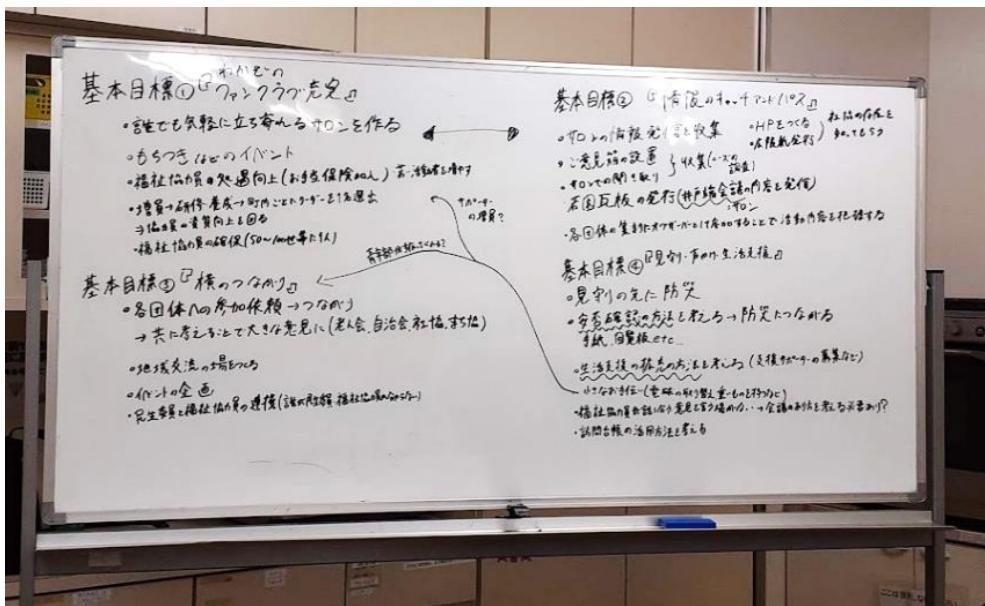


具体的に地域で何をしていくのかみんなで考えます。



活動者が自由に発言できる「若園井戸端サロン」の提案！！

R5年2月 若園女子会で、「目標に沿って課題分け」・「計画目標に沿ってまとめ」の作業を実施。



～若園校区小地域福祉活動計画冊子完成～ ✨ ✨ ✨



3 若園校区にある地域福祉の課題

- ・リーダー、福祉活動者の募集・育成・確保
- ・支援が必要な世帯、困りごとの把握
- ・福祉活動者の高齢化
- ・校区内の各団体（組織）の活動周知および交流
- ・福祉活動に関する広報啓発および活動参加
- ・情報伝達
- ・地域の交流の場（世代間交流・相談し合える場）
- ・子育て世帯の困りごと
- ・買い物・ゴミ出し・簡単な家の修理（電球交換・荷物や家具の移動など）
- ・災害時の避難

4 地域福祉の課題対策に向けて「チーム若園」のキックオフ

若園校区では、課題のピックアップから棚卸、周知、解決へ向け、活動しやすい環境を整えることや、住民からの声を基に何が必要で、何をしなくてはならないかを校区内の人々で考え、行動する「福祉の輪」を広げていきたいとの思いで考えた4本の柱が以下のとおりです。

- ・わかぞのファンクラブの充実 ～福祉協力員・人材確保～
- ・情報のキャッチ&パス ～情報伝達・収集～
- ・井戸端会議 ～横のつながり～
- ・みんなで見守り生活支援 ～見守り・助け合い・生活支援～

この冊子にはゴールは存在しません。でも、スタートはみんなできます。校区内のみんなが笑顔で挨拶ができ、健康に過ごせ、困った人が居たならば見送るのではなく、一人で考えずに、みんなで考える我が町「若園」へ向かいましょう。

**わがまち「若園」に向かって
KICK OFF**

第3章 計画体系

1 基本理念

「あいさつしよう 1人でないまち 若園！！」

若園校区では、見守り活動において、子どもから高齢者まで誰もが「一人のかけがえない住民」として安心して暮らせるまちづくりにしたいと願っています。そこで「あいさつしよう 1人でないまち 若園！！」として推進していきます。

2 基本目標

- (1) わかぞのファンクラブの充実
福祉協力員、人材確保
- (2) 情報のキャッチ&パス
情報発信と収集
- (3) 井戸端会議
イベント開催、横のつながり
- (4) みんなで見守り生活支援
見守り、声かけ、生活支援

3 実施項目（体系図）

基本理念「あいさつしよう 1人でないまち 若園！！」	基本目標1 わかぞのファンクラブの充実	<ul style="list-style-type: none"> ○誰でも気軽に立ち寄れるサロンをつくる ○福祉協力員の増進向上 ○増員→研修→養成→町内ごとにリーダーを選出 ○福祉協力員の確保（50/100 世帯）
	基本目標2 情報のキャッチ&パス	<ul style="list-style-type: none"> ○サロンの情報発信と収集 ○ご意見箱の設置 ○若園から版の発行 ○社協だよりの発行 ○各団体のオブザーバー参加
	基本目標3 井戸端会議	<ul style="list-style-type: none"> ○各団体への参加依頼 ○民生委員と福祉協力員の連携 ○推進委員の連携と調整会議の活用
	基本目標4 みんなで見守り生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ○町内の状況把握 ○見守りの先に防災 ○安否確認の方法を考える ○生活支援の拡充の方法を考える ○訪問台帳の活用方法を考える